

1. 化学品及び会社情報

化 学 物 質 等 の 名 称	グラスプ
製 品 番 号	GR-F300
会 社	社 : 株式会社グラスプ
住 所	所 : 神奈川県横浜市西区戸部本町33-13
担 当 部 門	門 :
電 話 番 号	号 : 045-326-2130, FAX 045-326-2131
e - m a i l ア ド レ ス	ス :
緊 急 連 絡 先	先 : 045-326-2130
作 成 日	日 : 2019年 11月 10日

製品識別名

製品名

:

GR-F300

接着剤

™ 商標、GRASP またはその子会社で登録済み

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 接着剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

急性毒性 (吸入) : 区分4

皮膚感作性 : 区分1

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 区分3 (気道刺激性)

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

: 警告

危険有害性情報

: H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H332 吸入すると有害。
H335 呼吸器への刺激のおそれ。

注意書き

: **安全対策:**
P261 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P280 保護手袋を着用すること。
応急措置:
P302 + P352 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
P304 + P340 + P312 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。
P333 + P313 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
保管:
P403 + P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
P405 施錠して保管すること。
廃棄:
P501 残余内容物・容器等は産業廃棄物として適正に廃棄すること。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

重要な徴候及び想定される非：情報無し。

常事態の概要

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

危険有害成分

化学名	CAS番号	含有量 (%)	官報公示整理番
HEXAMETHYLENE DIISOCYANATE	28182-81-2	>= 70.00 - < 80.00	
ALUMINUM HYDROXIDE	21645-51-2	>= 10.00 - < 20.0	1-17

4. 応急措置

一般的アドバイス

- ：危険域から避難させる。
- ：暴露したか気分が悪くなった場合には、中毒センター（POISON CENTER）または医師に電話する。
- ：この安全データシートを担当医に見せる。
- ：被災者を一人にしない。

吸入した場合

- ：新鮮な空気のある場所に移動する。
- ：吸入した場合：気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- ：患者を暖かく安静にしておく。

皮膚に付着した場合

- ：意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。
- ：汚染した衣服を脱ぐ。刺激が現れる場合には、医療機関で診察を受ける。

眼に入った場合

- ：皮膚に付着した場合は、水で十分にすすぐこと。
- ：通常は、応急処置は必要ではありません。しかし、暴露した部位を石鹼と水で洗って清潔に保つことが推奨されます。
- ：汚染された衣服は再使用する前に洗濯すること。

飲み込んだ場合

- ：予防措置として、水で眼を洗浄する。
- ：コンタクトレンズをはずす。
- ：損傷していない眼を保護する。
- ：眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

- ：ミルクやアルコール飲料を与えない。
- ：意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。
- ：症状が持続する場合は、医師に連絡する。

医師に対する特別な注意事項

- ：この物質に対し、吸い込み、飲み込みによる露出、および／あるいは皮膚を通しての浸透の徴候と症状には、次のようなものが挙げられます。
- ：胃腸の不快感（吐き気、嘔吐、下痢）
- ：過敏（鼻、のど、気管）
- ：咳
- ：胸の不快感
- ：頭痛
- ：息切れ
- ：肺浮腫（肺組織内の流体の蓄積）
- ：アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- ：吸入すると有害。
- ：呼吸器への刺激のおそれ。
- ：特別な応急措置が必要になる危害要因はない。

5. 火災時の措置

消火剤

使ってはならない消火剤
特有の危険有害性

有害燃焼副産物

特有の消火方法

消火を行う者の保護

- : 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
水噴霧
泡
二酸化炭素 (CO₂)
粉末消火剤
- : 大型棒状の水
- : 火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。
- : 二酸化炭素 (CO₂)
一酸化炭素
炭化水素
窒素酸化物 (NO_x)
シアン化水素 (青酸)
金属酸化物
ホルムアルデヒド
- : 化学物質の火災に対する標準手順。
製品は標準の消火剤に適合する。
- : 火災時には、自給式呼吸器を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護
具及び緊急時措置

環境に対する注意事項

封じ込め及び浄化の方法及び
機材

- : 保護具を使用する。
十分な換気を確保する。
防護用具を身につけていない人は清掃が完了するまで、流出エリアに立ち入らないようにしてください。
該当するすべての連邦、州、および現地の規制を順守してください。
- : 製品を排水施設に流してはならない。
安全を確認してから、もれやこぼれを止める。
製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。
- : 不活性の吸収材 (例えば、砂、シリカゲル、酸性結合剤、汎用結合剤、おがくず) で吸収させる。

7. 取扱い及び保管上の注意

廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

取扱い

火災及び爆発の予防

：標準的な防火方法。

安全取扱注意事項

：エアゾールの発生を避けること。
作業室の換気や排気を十分に行う。
蒸気/粉塵を吸い込まない。
禁煙。
皮膚感作性並びに喘息、アレルギー、慢性または反復性の呼吸器疾病を有する人は、この製剤を使用するすべての工程に従事しないことが望ましい。
空の容器は危険。
曝露を避ける－使用前に特別指示を受ける。
皮膚や眼への接触を避けること。
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。
個人保護については項目 8 を参照する。
洗浄水は、国及び地方自治体の規制に従い処分する。

接触回避

：アルコール類
アミン
強酸
強塩基類
強酸化剤
水

衛生対策

：休憩前や終業時には手を洗う。
使用中は飲食しないこと。
使用中は禁煙。

保管

安全な保管条件

：容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。
ラベルの予防措置を遵守する。

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS番号	指標（暴露形態）	管理濃度 / 許容濃	出典
ALUMINUM SALT	21645-51-2	OEL-M	2 mg/m3	JP OEL
		dust)		
		OEL-M (Total	8 mg/m3	JP OEL

設備対策

： 曝露ガイドライン以下の曝露(該当する場合)、または既知の原因のレベル以下、疑われるか、明白な有害作用を維持するのに十分な機械的(一般および/または局所排気)換気を行う。

保護具

呼吸用保護具

： 全面形保護面の付いた給気式呼吸用保護具を着用する。

手の保護具・材質

： ブチルゴム

破過時間

： 480 min

手袋の厚さ

： > 0.5 mm

備考

： 正確な破過時間は、防護手袋の製造者から入手することができるので、これに従わなければならない。手袋に劣化または薬品の浸透を示す兆候がわずかにでもある場合、手袋を破棄し取り替えなければならない。

眼の保護具

： 通常の使用条件の下では必要ありません。材料はミストや目にはねことができれば、防滴安全ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

： 必要に応じて着用：

不浸透性衣服

安全靴

作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、保護具を選択する。

裂けていたり、小さな穴が開いていたり、磨耗した手袋は捨てます。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

： 液体

色

： 白色

臭い

： データなし

臭いのしきい(閾)値

： データなし

pH

： データなし

融点・凝固点

： データなし

沸 点／沸騰範囲

： データなし

引火点

： > 260 °C

蒸 発速度

： データなし

燃焼性(固体、気体)	: データなし
爆発範囲の上限	: データなし
爆発範囲の下限	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対蒸気密度	: データなし
比重	: 1.3 kg/l (25 °C)
密度	: データなし
溶解度	: データなし
水に対する溶解性	: データなし
溶媒に対する溶解性	: データなし
n-オクタノール／水分配係数	: データなし
熱分解	: 13,000 cps (23 °C)
粘度	
粘度(粘性率)	: データなし
動粘度(動粘性率)	: データなし

酸化特性

10. 安定性及び反応性

反応性	: 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。
化学的安定性	: 推奨保管条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 危険な重合は起こらない。
混触危険物質	: アルコール類 アミン 強酸 強塩基類

危険有害な分解生成物

強酸化剤
 水
 : 一酸化炭素
 二酸化炭素(CO2)
 炭化水素
 アセトン

11. 有害性情報

急性毒性

吸入すると有害。

成分:

HEXAMETHYLENE DIISOCYANATE

HOMOPOLYMER:

急性毒性(経口)

: LD50 (ラット): 推定 > 2,500 mg/kg

方法: OECD 試験ガイドライン 423

アセスメント: 有害な効果は、急性経口毒性試験で観察されていない。

急性毒性(吸入)

: アセスメント: コンポーネント/混合物は急性吸入毒性、カテゴリ4に分類される。

急性毒性(経皮)

: LD50 (ラット, オスおよびメス): > 2,000 mg/kg

方法: OECD 試験ガイドライン 402

アセスメント: 有害な効果は、急性皮膚毒性試験において観察されていない。

ALUMINUM HYDROXIDE:

急性毒性(経口)

: LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg

LD50 (ラット, メス): > 2,000 mg/kg

方法: OECD 試験ガイドライン 423

GLP: 該当

アセスメント: 有害な効果は、急性経口毒性試験で観察されていない。

急性毒性(吸入)

: LC50 (ラット): > 2.3 mg/l

曝露時間: 4 h

試験環境: ダスト/噴霧

アセスメント: GHSでは、吸引性の急性毒性物質には分類されていません。

備考: 本情報は、類似する物質から得られたデータに基づく。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

製品:

備考: 敏感な人では、皮膚に刺激を起こすことがある。

成分:

HEXAMETHYLENE DIISOCYANATE HOMOPOLYMER:

種: ウサギ

方法: OECD 試験ガイドライン 404

結果: わずかな、一過性の刺激

ALUMINUM HYDROXIDE:

種: ウサギ

方法: OECD 試験ガイドライン 404

結果: 皮膚刺激なし

GLP: 該当

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

製品：

備考：蒸気は、眼、呼吸器系および皮膚に刺激を与える可能性がある。、目を刺激したり傷つけたりすることはないでしょう。

成分：

HEXAMETHYLENE DIISOCYANATE HOMOPOLYMER:

種：ウサギ

結果：わずかな、一過性の刺激

方法：OECD 試験ガイドライン 405

ALUMINUM HYDROXIDE:

種：ウサギ

結果：眼への刺激なし

方法：OECD 試験ガイドライン 405

GLP：該当

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性：アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

呼吸器感作性：利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分：

HEXAMETHYLENE DIISOCYANATE HOMOPOLYMER:

試験タイプ：マキシマイゼーション試験

種：モルモット

アセスメント：皮膚に触れると感作を起すことがある。

方法：OECD 試験ガイドライン 406

ALUMINUM HYDROXIDE:

試験タイプ：マキシマイゼーション試験

種：モルモット

アセスメント：動物実験では感作性なし。

方法：OECD 試験ガイドライン 406

GLP：該当

生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

HEXAMETHYLENE DIISOCYANA HOMOPOLYMER:

in vitro での遺伝毒性

- : 試験タイプ : Ames 試験
代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在
方法: OECD 試験ガイドライン 471
結果: 陰性
- : 試験タイプ : in vitro染色体異常試験
テスト種: チャイニーズハムスター繊維芽細胞
代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在
方法: OECD 試験ガイドライン 473
結果: 陰性
- : 試験タイプ : in vitroアッセイ
テスト種: チャイニーズハムスター卵巣細胞
代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在
方法: OECD 試験ガイドライン 476
結果: 陰性

in vivo での遺伝毒性

- : 試験タイプ : in vivo小核試験
テスト種: マウス (オスおよびメス)
投与経路: 経口
方法: OECD 試験ガイドライン 475
結果: 陰性

発がん性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

生殖毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

特定標的臓器毒性, 単回ばく露

呼吸器への刺激のおそれ。

成分:

HEXAMETHYLENE DIISOCYANATE HOMOPOLYMER:

アセスメント: 呼吸器への刺激のおそれ。

特定標的臓器毒性, 反復ばく露

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

吸引性呼吸器有害性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

詳細情報

製品:

備考: データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

成分:

HEXAMETHYLENE DIISOCYANATE HOMOPOLYMER:

魚毒性

: LC0 (Danio rerio (ゼブラフィッシュ)): > 100 mg/l

曝露時間: 96 h

試験タイプ: 止水式試験

方法: OECD 試験ガイドライン 203

ミジンコ等の水生無脊椎動物 に対する毒性

: EC0 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 100 mg/l

曝露時間: 48 h

方法: OECD 試験ガイドライン 202

藻類に対する毒性

: EC50 (Desmodesmus subspicatus (緑藻)): > 1,000 mg/l

曝露時間: 72 h

方法: OECD 試験ガイドライン 201

環境毒性アセスメント 水生環境有害性(急性)

: 本製品には既知の生体毒性は無い。

残留性・分解性

成分:

HEXAMETHYLENE DIISOCYANATE HOMOPOLYMER:

生分解性 : 結果: 易分解性ではない。

生分解: 0 %

曝露時間: 28 d

生体蓄積性

成分:

データなし

土壌中の移動性

成分:

データなし

他の有害影響

データなし

製品:

生態系に関する追加情報 : データなし

成分:

オゾン層への有害性

非該当

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

一般的アドバイス

汚染容器及び包装

: 廃棄物を下水へ排出してはならない。

薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。

認可された廃棄物処理業者へ委託する。

: 残りの容器を空にする

製品入り容器と同様に処分する。

空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた
廃棄物処理業者に委託する。

空の容器を再使用しない。

14. 輸送上の注意

国際規制

ID 番号	適切な輸送名	*危険性等級	副次危険性	梱包グループ	海洋汚染物質
-------	--------	--------	-------	--------	--------

規制

国際航空運送協会 - 貨物便

非危険物

国際 航空運送 協会 - 乗客便

非危険物

国際 海上危険 物

非危険物

UN_ DG

非危険物

*ORM = ORM-D, CBL = COMBUSTIBLE LIQUID

海洋汚染物質(該当・非該当)	非該当
----------------	-----

危険物に関する説明に(上記で言及されている場合)、パッケージサイズ、量、エンドユーザー、(あるいはそれが該当する場合)地域特定の例外は反映されていません。個別の出荷に特定な記述に関しては、積荷書類を参考にしてください。

15. 適用法令

関連法規

消防法

指定可燃物, 可燃性液体類, (2 立方メートル)

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質(既存化学物質)

非該当

変異原性の認められた化学物質(新規届出化学物質)

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物
非該当
名称等を表示すべき危険物及び有害物
非該当
特定化学物質障害予防規則
非該当
鉛中毒予防規則
非該当
四アルキル鉛中毒予防規則
非該当
有機溶剤中毒予防規則
非該当
労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）
非該当
毒物及び劇物取締法
非該当
化学物質排出把握管理促進法
非該当
麻薬向精神薬原料（輸出・輸入許可）

特定麻薬向精神薬原料（輸出・輸入許可）

火薬類取締法
非該当
船舶安全法
危険物として規制されていない
航空法
危険物として規制されていない
海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律
ばら積み輸送 : 有害液体物質には該当しない
個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない
廃棄物の処理及び清掃に関する法律
産業廃棄物
その他の国際規制
この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報 :
DSL : 本製品中の成分は全てカナダDSLリストに記載されている。

AICS : インベントリーに記載されているか、従っている

ENCS : インベントリーに記載されているか、従っている

KECI : インベントリーに記載されているか、従っている

PICCS : インベントリーに記載されているか、従っている

IECSC : インベントリーに記載されているか、従っている

TCSI : インベントリーに記載されているか、従っている

TSCA : TSCA インベントリに記載

インベントリー

AICS (オーストラリア)、DSL (カナダ)、IECSC (中国)、REACH (欧州連合)、ENCS (日本)、ISHL (日本)、KECI (韓国)、NZIoC (ニュージーランド)、PICCS (フィリピン)、TCSI (台湾)、TSCA (米国)

詳16. その他の情報

細情報

改訂日: 09/03/2019

危険有害性情報の全文

H302	飲み込むと有害。
H314	重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H318	重篤な眼の損傷。
H330	吸入すると生命に危険。
H332	吸入すると有害。
H334	吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ。
H335	呼吸器への刺激のおそれ。

その他の情報

: ここに集積された情報は正確なものであると信じられていますが、もともと当社で作成されたものであるかどうかは保証されません。受領者は必要に先立って情報が現時点のもので、自分の状況に該当可能で適切であることを確認するよう助言いたします。

引用文献

国連環境計画 (UNECE) は、表示 (GHS) と輸送の調和分類を実施する地域協定を管理している。

その他の略語の全文

AICS - オーストラリア化学物質インベントリー; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; CPR - 管理製品規則; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50% 阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50% 致死濃度; LD50 - 50% 致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性 (物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリー; (Q) SAR - (定量的) 構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TCSI - 台湾化学物質インベントリー; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法 (米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

1. 化学品および会社情報

化学物質等の名称 グラスプ 接着剤
 製品番号 GR-F300
 会社 社：株式会社グラスプ
 住所 所：神奈川県横浜市西区戸部本町33-13
 担当部門 門：
 電話番号 号：045-326-2130, FAX 045-326-2131
 e-mail アドレス：
 緊急連絡先 先：045-326-2130
 作成成 日：2019年 11月 10日

製品識別名：GR-F300
 製品名 接着剤
 ™ 商標、GRASP またはその子会社で登済み

2. 危険有害性の要約

GHS分類

GHS分類基準に該当しない。

GHSラベル要素

GHS分類基準に該当しない。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

重要な徴候及び想定される非：情報無し。

常事態の概要

3. 組成及び成分情報

危険有害成分

化学名	CAS番号	含有量 (%)	官報公示整理番
DOLOMITE	16389-88-1	>= 10.00 - < 20.0	
ALUMINUM HYDROXIDE	21645-51-2	>= 1.00 - < 10.00	1-17
CARBON BLACK	1333-86-4	>= 0.10 - < 1.00	(5)-5222
DIMETHYLTIN BISNEODECANOATE	68928-76-7	>= 0.10 - < 0.25	

4. 応急措置

一般的アドバイス

：危険区域から避難させる。
 暴露したか気分が悪くなった場合には、中毒センター (POISON CENTER) または医師に電話する。
 この安全データシートを担当医に見せる。
 被災者を一人にしない。

吸入した場合

：吸い込んだ場合、新鮮な空気の場所に移す。
 意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。
 症状が持続する場合は、医師に連絡する。

皮膚に付着した場合

：通常は、応急処置は必要ではありません。しかし、暴露した部位を石鹸と水で洗って清潔に保つことが推奨されます。

眼に入った場合

：予防措置として、水で眼を洗浄する。
 コンタクトレンズをはずす。
 損傷していない眼を保護する。
 眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。

飲み込んだ場合	： 医療処置を受ける。 - ミルクやアルコール飲料を与えない。 - 意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。 - 症状が持続する場合は、医師に連絡する。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	： この物質に対し、吸い込み、飲み込みによる露出、および／あるいは皮膚を通しての浸透の徴候と症状には、次のようなものが挙げられます。 - 胃腸の不快感（吐き気、嘔吐、下痢） - 過敏（鼻、のど、気管）
医師に対する特別な注意事項	： 特別な応急措置が必要になる危害要因はない。

5. 火災時の措置

消火剤	： 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。 - 水噴霧 - 泡 - 二酸化炭素 (CO2)
使ってはならない消火剤	： 大型棒状の水(棒状注水)
特有の危険有害性	： 火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。
有害燃焼副産物	： 二酸化炭素 (CO2) - 一酸化炭素 - 炭化水素 - 窒素酸化物 (NOx) - 金属酸化物 - ホルムアルデヒド - 塩素化合物 - ハロゲン化炭化水素
特有の消火方法	： 火災の残留物や汚染した消火廃水は、関係法規に従って処理する。 - 製品は標準の消火剤に適合する。
消火を行う者の保護	： 火災時には、自給式呼吸器を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	： 十分な換気を確保する。 - 防護用具を身につけていない人は清掃が完了するまで、流出エリアに立ち入らないようにしてください。 - 地域/国/現地の該当するすべての規制を順守してください。
環境に対する注意事項	： 製品を排水施設に流してはならない。 - 安全を確認してから、もれやこぼれを止める。 - 製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	： 不活性の吸収材（例えば、砂、シリカゲル、酸性結合剤、汎用結合剤、おがくず）で吸収させる。 - 廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 火災及び爆発の予防 : 標準的な防火方法。
- 安全取扱注意事項 : 蒸気/粉塵を吸い込まない。
禁煙。
空の容器は危険。
- 接触回避 : 作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。
個人保護については項目 8 を参照する。
洗浄水は、国及び地方自治体の規制に従い処分する。
: アルミニウム塩
イソシアネート
リン化合物
強酸
強塩基類
強酸化剤
- 衛生対策 : 休憩前や終業時には手を洗う。

保管

- 安全な保管条件 : 容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。
ラベルの予防措置を遵守する。

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS番号	指標（暴露形態）	管理濃度 / 許容濃	出典
MAGNESIUM COMPOUND	16389-88-1	OEL-M (Respirable)	1 mg/m3 Respirable dust	JP OEL JSOH
		OEL-M (Total)	4 mg/m3	JP OEL
ALUMINUM SALT	21645-51-2	OEL-M (Respirable)	2 mg/m3 Respirable dust	JP OEL JSOH
		OEL-M (Total)	8 mg/m3	JP OEL
CARBON BLACK	1333-86-4	OEL-M (Respirable)	1 mg/m3 Respirable dust	JP OEL JSOH
		OEL-M (Total)	4 mg/m3	JP OEL

設備対策

- : 曝露ガイドライン以下の曝露（該当する場合）、または既知の原因のレベル以下、疑われるか、明白な有害作用を維持するのに十分な機械的（一般および/または局所排気）換気を行う。

保護具

呼吸用保護具

- : 蒸気を形成する場合は、適合したフィルターの付いた呼吸装置を使用する レスピレータ/フィルタの組み合わせの範囲内で使用することができます。

手の保護具	濃度が推奨限界値を超過しているか不明な場所、またはカートリッジ式レスピレータが適切でない場合、陽圧給気式レスピレータを着用する
材質	： ブチルゴム
破過時間	： 480 min
手袋の厚さ	： > 0.5 mm
備考	： 正確な破過時間は、防護手袋の製造者から入手することができるので、これに従わなければならない。手袋に劣化または薬品の浸透を示す兆候がわずかにでもある場合、手袋を破棄し取り替えなければならない。
眼の保護具	： 通常の使用条件の下では必要ありません。材料がミスト状になり目に入ることがあるならば、防滴安全ゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具	： 必要に応じて着用： 不浸透性衣服 安全靴 作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、保護具を選択する。

9. 物理的及び化学的性

物理的状态	： 液体
色	： 黒色
臭い	： データなし
臭いのしきい(閾)値	： データなし
pH	： 非該当
融点・凝固点	： データなし
沸 点／沸騰範囲	： データなし
引火点	： > 203 °C
蒸 発速度	： データなし
燃焼性(固体、気体)	： データなし
爆発範囲の上限	： データなし
爆発範囲の下限	： データなし
蒸気圧	： データなし
相対蒸気密度	： データなし
比重	： 1.3
密度	： データなし
溶解度	
水に対する溶解性	： データなし
溶媒に対する溶解性	： データなし
n-オクタノール／水分配係数	： データなし
熱分解	： データなし
粘度	
粘度(粘性率)	： 8,000 cps (23
動粘度(動粘性率)	： データなし
酸化特性	： データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。
化学的安定性	: 推奨保管条件下では安定。 : 危険な重合はおこらない。
避けるべき条件	: 両極端の気温
混触危険物質	湿気への暴露。 : アルミニウム塩 イソシアネート リン化合物 強酸 強塩基類 強酸化剤
危険有害な分解生成物	: 一酸化炭素 二酸化炭素 (CO ₂) 窒素酸化物 (NO _x) 炭化水素 アセトン

11. 有害性情報

急性毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

ALUMINUM HYDROXIDE:

急性毒性(経口)

: LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg

LD50 (ラット, メス): > 2,000 mg/kg

方法: OECD 試験ガイドライン 423

GLP: 該当

アセスメント: 有害な効果は、急性経口毒性試験で観察されていない。

急性毒性(吸入)

: LC50 (ラット): > 2.3 mg/l

曝露時間: 4 h

試験環境: ダスト/噴霧

アセスメント: GHSでは、吸引性の急性毒性物質には分類されていません。

備考: 本情報は、類似する物質から得られたデータに基づく。

CARBON BLACK:

急性毒性(経口)

: LD50 (ラット): 8,000 mg/kg

DIMETHYLTIN BISNEODECANOATE:

急性毒性(経口):

: LD50 (ラット): 894 mg/kg

方法: OECD 試験ガイドライン 401

急性毒性(経皮)

: LD50 (ラット): > 2,000 mg/kg

方法: OECD 試験ガイドライン 402

アセスメント: GHSでは、皮膚吸収による急性毒性物質には分類されていません。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

DOLOMITE:

結果: 皮膚刺激なし

ALUMINUM HYDROXIDE:

種: ウサギ

方法: OECD 試験ガイドライン 404

結果: 皮膚刺激なし

GLP: 該当

CARBON BLACK:

種: ウサギ

結果: 皮膚刺激なし

DIMETHYLTIN BISNEODECANOATE:

結果: わずかな、一過性の刺激

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

製品:

備考: 目を刺激したり傷つけたりすることはないでしょう。

成分:

DOLOMITE:

結果: わずかな、一過性の刺激

ALUMINUM HYDROXIDE:

種: ウサギ

結果: 眼への刺激なし

方法: OECD 試験ガイドライン 405

GLP: 該当

CARBON BLACK:

種: ウサギ

結果: 眼への刺激なし

DIMETHYLTIN BISNEODECANOATE:

結果: わずかな、一過性の刺激

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性: 利用可能な情報に基づく限り分類できない。

呼吸器感作性: 利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分: ALUMINUM HYDROXIDE:

試験タイプ: マキシマイゼーション試験

種: モルモット

アセスメント: 動物実験では感作性なし。

方法: OECD 試験ガイドライン 406

GLP: 該当

CARBON BLACK:

試験タイプ: ビューラー法

種: モルモット

アセスメント: 皮膚を過敏化させない。

方法: OECD 試験ガイドライン 406

生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

CARBON BLACK:

in vitro での遺伝毒性

: 試験タイプ: Ames 試験

テスト種: Salmonella typhimurium

代謝活性化: 代謝活性化の存在または不
存在

結果: 陰性

DIMETHYL TIN BISNEODECANOATE:

in vitro での遺伝毒性:

試験タイプ: Ames 試験

方法: OECD 試験ガイドライン 473

結果: 陰性

発がん性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

生殖毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

DIMETHYL TIN BISNEODECANOATE:

生殖毒性 - アセスメント

: 胎児への悪影響のおそれの疑い。、疑わしい人間の生殖への
毒性物質**特定標的臓器毒性, 単回ばく露**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

特定標的臓器毒性, 反復ばく露

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

DIMETHYL TIN BISNEODECANOATE:

暴露の主経路: 飲み込んだ場合

標的臓器: 胸腺

アセスメント: 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害。

吸引性呼吸器有害性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

詳細情報

製品:

備考: データなし

12. 環境影響情報**生態毒性****成分:**

CARBON BLACK:

魚毒性

: LC50 (Danio rerio (ゼブラフィッシュ)): > 1,000 mg/l

曝露時間: 96 h

試験タイプ: 半静止試験

備考: 溶解度限界値における毒性無し

ミジンコ等の水生無脊椎動
物に対する毒性

: EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 5,600 mg/l

曝露時間: 24 h

試験タイプ: 止水式試験

備考: 溶解度限界値における毒性無し

藻類に対する毒性

: EC50 (Desmodesmus subspicatus (緑藻)): > 10,000 mg/l

エンドポイント: 成長抑制

曝露時間: 72 h

試験タイプ: 止水式試験

備考: 溶解度限界値における毒性無し

DIMETHYLTIN BISNEODECANOATE:

環境毒性アセスメント

水生環境有害性(長期間): 長期継続的影響によって水生生物に有害のおそれ。

残留性・分解性

CARBON BLACK:

生分解性 : 結果: 生分解性の判定方法は無機物質には適用されない。

DIMETHYLTIN BISNEODECANOATE:

生分解性 : 結果: 易分解性ではない

生体蓄積性

データなし

土壌中の移動性

データなし

他の有害影響

データなし

製品:

生態系に関する追加情報 : データなし

オゾン層への有害性

非該当

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

一般的アドバイス

: 廃棄物を下水へ排出してはならない。
薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。
認可された廃棄物処理業者へ委託する。

汚染容器及び包装

: 残りの容器を空にする
製品入り容器と同様に処分する。
空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた
廃棄物処理業者に委託する。
空の容器を再使用しない。

14. 輸送上の注意

国際規制

規制

ID 番号	適切な輸送名	*危険性等級	副次危険性	梱包グルー	海洋汚染物質
-------	--------	--------	-------	-------	--------

国際航空運送協会 - 貨物便

非危険物

国際航空運 送協会 - 乗客便

非危険物

国際海上危険物

非危険物

*ORM = ORM-D, CBL = COMBUSTIBLE LIQUID

海洋汚染物質(該当・非該当) 非該当

危険物に関する説明に(上記で言及されている場合)、パッケージサイズ、量、エンドユーザー、
(あるいはそれが該当する場合)地域特定の例外は反映されていません。個別の出荷に特定な記述に
関しては、積荷書類を参考にしてください。

15. 適用法令

関連法規

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質(既存化学物質)

非該当

変異原性の認められた化学物質(新規届出化学物質)

非該当

名称等を通知・表示すべき危険物及び有害物

化学名	番号	含有量 (%)
カーボンブラック	9-130	>=0.1 - <1
すず及びその化合物	9-322	>=0.1 - <1

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一 (危険物)

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

麻薬向精神薬原料(輸出・輸入許可) : 非該当

特定麻薬向精神薬原料(輸出・輸入許可) : 非該当 火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危険物として規制されていない

航空法

危険物として規制されていない

DSL	: 本製品は、カナダDSL上ないと、年間数量の制限を持っている一つまたは複数のコンポーネントが含まれています。
AIGS	: インベントリに記載されているか、従っている
ENCS	: インベントリに記載されているか、従っている
KECI	: インベントリに記載されているか、従っている
PICCS	: インベントリに記載されているか、従っている
IECSC	: インベントリに記載されているか、従っている
TCSI	: インベントリに記載されているか、従っている
TSCA	: TSCA インベントリに記載

インベントリ

AIGS (オーストラリア)、DSL (カナダ)、IECSC (中国)、REACH (欧州連合)、ENCS (日本)、ISHL (日本)、KECI (韓国)、NZIoC (ニュージーランド)、PICCS (フィリピン)、TCSI (台湾)、TSCA (米国)

16. その他の情報

危険有害性情報の全文

H224	極めて引火性の高い液体及び蒸気。
H302	飲み込むと有害。
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H319	強い眼刺激。
H335	呼吸器への刺激のおそれ。
H351	発がんのおそれの疑い。
H361	生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い。
H372	反復してあるいは長期にわたり飲み込んだ場合、臓器の障害。
H402	水生生物に有害。
H413	長期継続的影響によって水生生物に有害のおそれ。

その他の情報 : ここに集積された情報は正確なものであると信じられていますが、もともと当社で作成されたものであるかどうかは保証されません。受領者は必要に先立って情報が現時点のもので、自分の状況に該当可能で適切であることを確認するよう助言いたします。SDSは、AshlandのEnvironmental Health and Safety Department (環境・健康・安全部門)により作成されました。

引用文献

国連環境計画(UNEP)は、表示(GHS)と輸送の調和分類を実施する地域協定を管理している。

その他の略語の全文

AICS - オーストラリア化学物質インベントリー; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; CPR - 管理製品規則; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリー; (Q) SAR - (定量的)構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TCSI - 台湾化学物質インベントリー; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法 (米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム